

令和2年度 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会馬術競技場における
衛生管理委託事業に係わる「マダニ駆除計画」に関する第3回有識者会議議事録

日時：令和2年9月28日（月） 15：15～16：00

場所：WEB会議

参加者：農林水産省	坂本課長補佐
	川崎係長
	寺田獣医学博士
(株)アグリマート	白井技術グループリーダー
日本防疫殺虫剤協会	千保専務理事
国際衛生㈱	犬塚、鈴庄（記）

令和2年度の馬事公苑および海の森公園における第2回マダニ現地調査経過報告及び第3回現地調査に関して、有識者を交え、今後の方針確定を目的に、会議を実施した。以下、概要を示す。

【会議概要】

第2回現地調査経過報告及び第3回現地調査について

- ・ 8月25日（海の森公園）、26日（馬事公苑）、28日（ネズミトラップ回収）に実施した第2回現地調査に関して、資料を基に経過報告（鈴庄）。
- ・ 海の森公園、馬事公苑とも、フランネル法ではマダニは捕獲されなかった。また、リター層は4週後の経過観察でもマダニは確認されなかった。
- ・ 海の森公園、馬事公苑とも、ネズミ類は捕獲されなかった。海の森公園では高温による飼料の劣化（乾燥、カビ）、昆虫類による喫食跡が確認された。また、馬事公苑では、南エリアに設置のトラップが動かされており、内部に設置していた飼料が消失しており、ネズミ類より大型の動物によるものと推定された。
- ・ 海の森公園では、東側植林地、ゲート付近に赤外線カメラを3台設置。小動物は撮影されなかった。
- ・ 馬事公苑では、西側外周フェンスとクロスカントリーコース間の砂コース上に小動物の足跡が確認された。なお、外周フェンス下隙間の補修工事は11月以降に実施予定とJRA 滝澤様から連絡を受けています。
- ・ 次回、第3回現地調査を10月14日（海の森公園）、15日（馬事公苑）で計画している。また、第2回に引き続き、ネズミなどの小動物の調査を実施予定。トラップ及びカメラは10月21日に回収予定。
- ・ 海の森公園ではトラップの増設、馬事公苑では赤外線カメラを設置し、設置期間を従来の期間より長くすることを検討している。海の森公園に設置するトラップには、設

置期間を長くするため、劣化しにくい固形の無毒餌の使用を予定。馬事公苑の赤外線カメラの設置については JRA 様から組織委員会に確認して頂き、設置の了承を得ています。第 3 回調査に関して、有識者の皆様のご意見をお伺いしたい。

質疑・確認事項

- ・ 第 2 回調査でマダニが捕獲されなかったことは良いことだと思います。また、馬の滞在時間が長くなると思われる馬事公苑で何らかの動物によるネズミトラップの移動、小動物の足跡が確認されたことを受けての赤外線カメラの設置、広大な海の森公園でのネズミトラップ設置数を増加させる仕様書の案は妥当であると思います（寺田様）。
→馬事公苑は工事が終了し、人の出入りが少なくなったので、小動物がこれまでより入りやすい環境になっている可能性があります（犬塚）
- ・ 秋は幼ダニが多いシーズンです。ネズミなどの小動物には幼ダニが付きやすい傾向があるため、次回の小動物調査は良いタイミングだと思います（寺田様）。
- ・ 11 月以降、馬事公苑では馬術競技の開催が多く予定されています。人の出入りも増えるため、マダニ侵入のリスクが高まります。改めて注意喚起が必要です（寺田様）。
- ・ 前回の報告では、海の森公園では鳥類が多く確認されたとのことでしたが、第 3 回調査時はどうでしたか？（寺田様）

→海の森公園では、前回に比べると大型の鳥類はあまり見かけませんでした。しかし、林の中から鳴き声が聞こえたことから、小型の鳥類は多く生息していると思われます。馬事公苑は鳥、特にカラスの目撃は少なかったです。ただし、黄色のインコのような変わった鳥が今回も見られました。なお、CM 撮影があったためか、清掃されており、前回多数確認された鳥の排泄物などの痕跡はあまり見られませんでした（犬塚）。

- ・ 馬事公苑で確認された隙間の補修について、11 月以降に実施とのことですが、JRA から何か伺っていますか？（坂本様）

→JRA からは工事施工中であれば、早めに対応することが可能であったが、工事が終了したので、追加の工事に関しては組織委員会との調整が必要である旨は伺っています（鈴庄）。

→馬事公苑のフェンスの隙間の補修に関しては、農林水産から JRA 様に状況を確認します（坂本様）。

- ・ 馬ピロプラズマ病原虫を媒介することが知られているマダニにネコへの嗜好性がありますか？（坂本様）

→馬ピロプラズマ病原虫を媒介するマダニとして、日本で現在生息が確認されているマダニはクリイロコイタマダニです。クリイロコイタマダニは犬を最も嗜好します。しかし、ネコ、ネズミなどのその他の哺乳動物および鳥類も、宿主になる可能性があります（寺田様）。

- ・ 馬事公苑の赤外線カメラ設置箇所ですが、現在検討している西側フェンス内側、南エリアに加えて、馬が長期間滞在する厩舎周りにも設置し、厩舎周りにまで小動物が到達しているか否かを確認したほうが良いのではないのでしょうか？（寺田様）
→カメラの台数的には設置可能です。厩舎周りへの赤外線カメラの設置に関して JRA 様にヒアリングし、組織委員会への確認を依頼します（鈴庄）。

今後の予定

- ・ 第 3 回現地調査は 10 月 14 日（海の森公園）、15 日（馬事公苑）に実施予定。併せて小動物調査も実施し、10 月 21 日に回収予定。
- ・ 第 2 回現地調査報告書を作成し、会議出席者に報告する（鈴庄対応）。

以上